

## 「水道事業ビジョン2020」各種指標の進捗状況と目標値の見直し

No	理想像	PI番号	数値目標名	実績値						達成度 評価	目標値			現行の R10目標値 との差	コメント (目標値の見直しについて)
				H30	R1	R2	R3	R4	R5		R6	R10 (現行)	R10 (見直し)		
1	安全で安心な水道	A201	原水水質監視度	177	177	177	179	179	179		177	177	179	+2	・近年実績値はR10目標値を達成しているため、近年実績水準に目標値を改める
2		A202	給水栓水質検査(毎日)箇所密度	8.7	8.7	8.7	8.7	8.7	8.7		8.7	8.7	8.7		
3		A401	鉛製給水管率	34.7	35.9	39.5	39.1	38.5	37.8		29.0	25.2	36.2	+11	・H30 R2の実態調査により、残存件数が策定時から増加したため、解消ペースを見直した目標値に改める
4		A203	配水池清掃実施率	82.8	67.8	67.4	68.3	62.3	101.6	○	100	100	100		
5		B201	浄水場事故割合	0	0	0	0.13	0.13	0.13		0	0	0		・目標値の変更はせず、今後は、施設管理を徹底し、浄水場事故の再発防止に努める
6				無ライニング铸铁管残存数	45.0	40.0	36.3	31.8	27.1	24.0	○	20	0	0	
7	災害に強い水道	B602	浄水施設の耐震化率	8.6	8.6	8.6	8.6	8.6	8.6		8.6	91.5	9.1	-82.4	・九頭竜浄水施設更新は、民間活力導入の検討のため、計画時より遅れるが、その他浄水場は計画どおり進める
8		B604	配水池の耐震化率	37.5	38.4	38.8	43.4	43.5	43.5	○	53.0	57.5	58.6	+1.1	・原目配水池の一部を先行して整備できる見込みであるため、目標値を改める
9		B607	重要給水施設配水管路の耐震適合率	47.6	47.6	51.1	53.1	59.7	66.4	○	70	100	100		
10		B606	基幹管路の耐震適合率	31.8	34.0	35.8	37.5	39.6	41.7	○	42.1	50.6	50.6		
11	持続可能な水道	C403	水道施設見学者割合	45.8	39.9	20.1	25.3	38.8	71.5	○	46	46	60	+14	・近年実績値はR10目標値を達成しているため、近年実績水準に目標値を改める
12		C102	経常収支比率	115	132	127	125	124	114		115	105	105		
13		C112	給水収益に対する企業債残高の割合	386	303	309	311	304	303		330	320	320		
14		C203	内部研修時間	8.3	8.5	8.3	7.7	3.6	5.1		9	9	9		・近年実績は目標値を下回っているものの、局内技術研修センターの研修を充実させ、目標値達成を目指す
15		B306	建設副産物のリサイクル率	52.3	59.8	63.9	51.0	54.4	65.0		50	50以上	50以上		
16		B305	浄水発生土の有効利用率	100	100	100	100	100	100		100	100	100		
17		B301	配水量1m <sup>3</sup> 当たり電力消費量	0.42	0.38	0.40	0.41	0.41	0.41		0.4	0.4	0.4		

達成度評価(=R10目標値達成の見込み)・・・ :極めて高い【7指標】 ○:高い【6指標】 :低い【4指標】

R10目標値を見直し、「上方修正」したもの・・・、 R10目標値を見直し、「下方修正」したもの・・・

No.9、No.10・・・「耐震管率」と表記してきたが、中間見直しに伴い、表記を「耐震適合率」に訂正する